

# 雜 報

## ◎人 事

任岡山醫科大學助教授  
叙高等官七等

小池 藤 太 郎

岡山醫科大學助教授 小池 藤 太 郎

本俸十一級俸下賜  
職務俸金四百五圓下賜 (十二月十九日)

(各通) 正六位勳四等 藤 田 秀 三 郎  
叙從五位 (十二月十五日)

叙正五位 正六位勳四等 菅 田 直 樹  
(十二月十五日)

叙正五位 從五位勳六等 大 西 永 次 郎  
(十二月十五日)

正五位勳五等 秦 佐 八 郎  
労働保險調査會臨時委員被仰付 (十二月二十八日)

岡山醫科大學教授 敷 波 重 治 郎  
賜本俸一級俸 (十二月二十八日)

叙從七位 小池 藤 太 郎  
(十二月二十八日)

叙正五位 從五位勳四等 栗 栖 幸 穂  
(一月四日)

海軍軍醫大佐從五位勳四等 栗 栖 幸 雄  
特旨ヲ以テ位一級被進 (一月四日)

岡山醫科大學教授從五位 林 道 倫  
陞叙高等官二等 (一月十日)

○佐藤義信君 は今般京城帝國大學醫學部外科教室を辭し京畿道立仁川醫院外科に勤務せられたり

○酒井美雄君 は豫て岡山醫科大學津田外科教室に勤務し居られしが今般松江市松江健康保險相談所に轉勤せられたり

○香取正倫君 は今般奈良縣野原町共立病院を辭し大阪府泉北郡大津町下條に於て開業せられたり

○水野文次郎君 歩兵第十聯隊附の同君は本年2月1日より上長官學生として陸軍軍醫學校に入學

し耳鼻咽喉科を専攻せらるる筈なり

○小田源太郎君 は豫て高岡市梶村病院に勤務し居られしが今般同院を辭し再び岡山醫科大學石山外科教室に於て研究に従事せられたり

## ◎學位授與

日城旭丸、宮本義太の兩君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが日城君は昨年11月19日、宮本君は昨年12月3日の教授會を通過し前者は本月8日、後者は本月18日孰れも醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及び參考論文は左の如し

日 城 旭 丸 君

### 主 論 文

含水炭素新陳代謝障礙時ノ血糖調査ニ關スル實驗的研究

其 1. 膵臟機能不全時1側副腎別出ノ血糖ニ及ホス影響ニ就テ (本誌第46年第8號ニ發表セリ)

其 2. 膵切除犬ニ於ケル2,3藥物ノ血糖降下作用ニ就テ (本誌第46年第8號ニ發表セリ)

其 3. 膵切除犬ニ於ケル肝臟内「インシュリン」様物質ノ消長ニ就テ (本誌第46年第8號ニ發表セリ)

### 參 考 論 文

其 1. 肝臟ノ血液凝固、血中「フィブリノゲン」並ニ補體ノ消長ニ及ホス影響ニ關スル實驗的研究 (本誌第46年第8號ニ發表セリ)

其 2. 廻盲部疊積症(殊ニ其ノ腫瘤ト疊積程度トノ關係)ニ就テ (昭和10年1月日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定)

其 3. 頸動脈腫瘍 (東京醫事新誌第2886號ニ發表セリ)

其 4. 肋骨ヨリ發生セル興味深キ軟骨腫ノ1例 (昭和10年1月日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫

定)

其 5. 比較的早期ノ結核性膝關節強直ニ對スル  
バイヤー氏手術法ノ應用 (昭和 9 年 11 月日  
本整形外科學會雜誌ニ發表セリ)

宮本義太君

主論文

鳥類神經管ノ形成ニ就テ

其 1. 特ニ家鳩ニ於ケル檢索 (本誌第 44 年  
第 10 號ニ發表セリ)

其 2. 特ニ家鴨ニ於ケル檢索 (本誌第 45 年  
第 7 號ニ發表セリ)

其 3. 特ニ十姉妹ニ於ケル檢索 (本誌第 46  
年第 7 號ニ發表セリ)

其 4. 特ニ七面鳥ニ於ケル檢索 (本誌第 46  
年第 9 號ニ發表セリ)

參考論文

1. 肺臟原基ノ形態學的研究 (哺乳類殊ニ豚胎  
兒ニ於ケル氣管分枝狀況ニ就テ) (本誌第 44  
年第 7 號ニ發表セリ)

2. Hynobius ニ於ケル胃原基ノ發生ニ就テ  
(本誌第 44 年第 12 號ニ發表セリ)

3. 邦人胎兒ニ於ケル胃原基ノ形態學の發生ニ  
就テ (本誌第 46 年第 8 號ニ發表セリ)

4. K 及 P Ca ノ兩棲類特ニ蛙類ノ蝌蚪ノ發生  
ニ及ボス影響ニ就テ (本誌第 44 年第 12 號  
ニ發表セリ)

5. 剝離性大動脈瘤ノ 1 例ニ就テ (佐藤幹ト共  
著) (本誌第 45 年第 1 號ニ發表セリ)

◎正誤 渡邊武君第 46 年第 12 號原著第 3187 頁 Fig. 16., Fig. 17. ヲ下ノ通り訂正ス

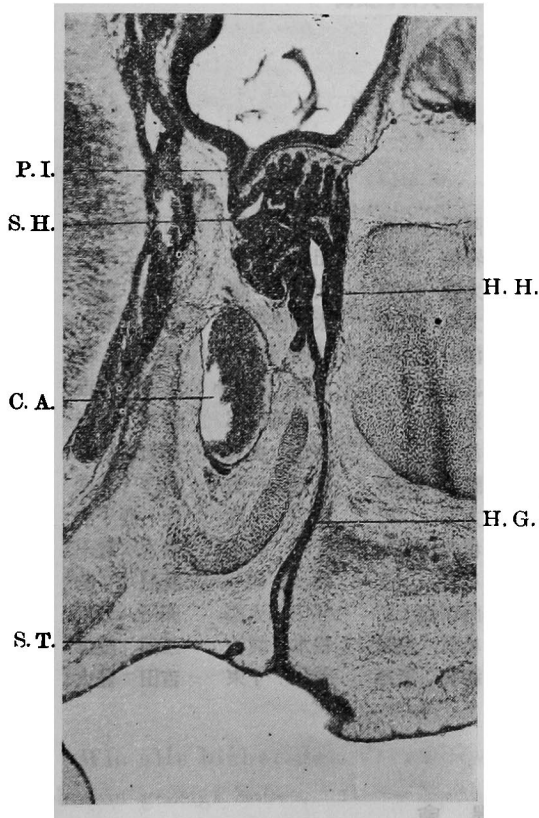


Fig. 16.

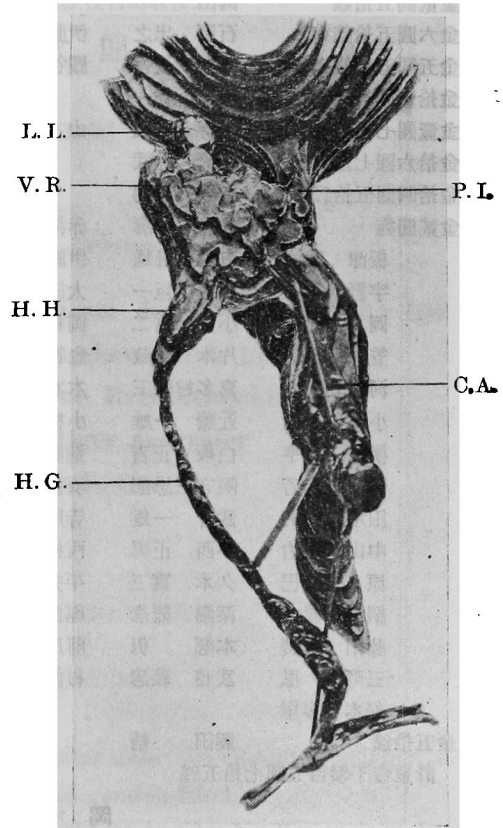


Fig. 17.